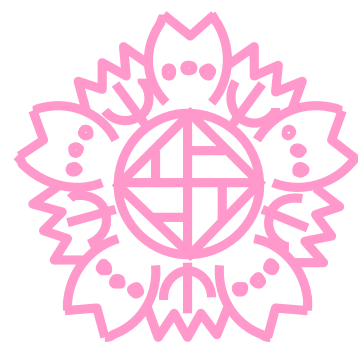


平成18年度科学技術振興調整費

「女性研究者育成モデル事業支援」として採択

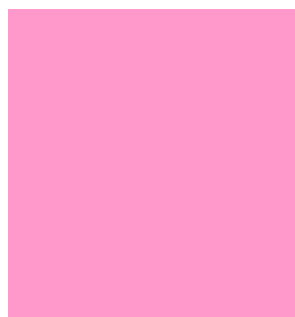


女性研究者 マルチキャリアパス支援モデル

日本女子大学 理学部・理学研究科

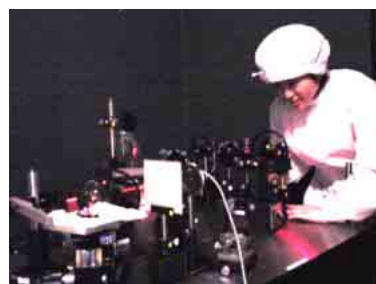


*Japan
Women's
University*

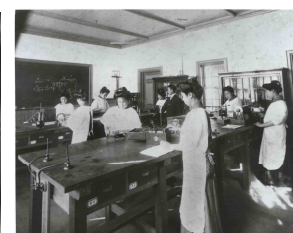


女性のパワーが科学を、未来を創る

2006-2008



*since
1901*





学長（総括責任者）



日本女子大学は創立以来1世紀余にわたって、総合大学の構想実現に力を尽くしてきました。そして1992年には、長い歴史を持つ家政理学科から、私学の女子大学で最初の理学部が誕生し、数学・物理・化学・生物の各分野から優れた卒業生を輩出し、研究・教育分野はもとより、産業界や報道の世界にも女性リーダーとして幅広い活躍を展開しています。今人類は、地球規模で人智を結集し、次世代の豊かな未来を築くことが求められています。全人教育の基盤にしっかりと支えられた本学の自然科学は、女性の科学的な芽を育み、新世紀の要請に応える実力と体系を備えています。

日本女子大学学長 後藤 祥子



プロジェクトリーダー



本プロジェクトの目的は「出産・育児と研究活動の両立支援」および「女性研究者の活躍の場の拡大」です。実現に向けて、ユビキタスリサーチによる支援、ヒューマンリソース支援、調査・企画の3つの柱として実施していきます。女性研究者がさまざまな場所で活躍できることを示し、産学連携など就職に結びつける活動を通して女性研究者数の拡大を行います。また、プロジェクトにおける活動を次世代に広げ、科学教室やシンポジウムを開催し、科学の面白さを伝えることで継続的な女性研究者の育成を図ります。

日本女子大学理学部教授
日本学会協議会員

小 館 香 椎 子

明日の女性研究者・技術者を応援します



女性研究者マルチキャリアパス支援モデル・プロジェクトの取り組み



理系女性研究者・技術者は今からがチャンスです

平成18年度科学技術振興調整費「女性研究者育成モデル事業支援」

優れた女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、女性研究者が研究と出産・育児等を両立するための支援を行う仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する。

対象機関：大学、大学共同利用機関、国立試験研究機関及び独立行政法人
(自然科学全般又は自然科学と人文・社会科学との融合領域を対象)

実施期間：原則3年間

実施規模：年間2～5千万円程度(間接経費を含む)

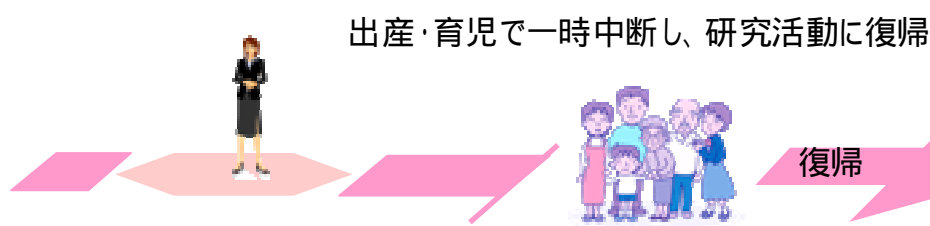
採択

日本女子大学が推進する『女性研究者マルチキャリアパス支援モデル』

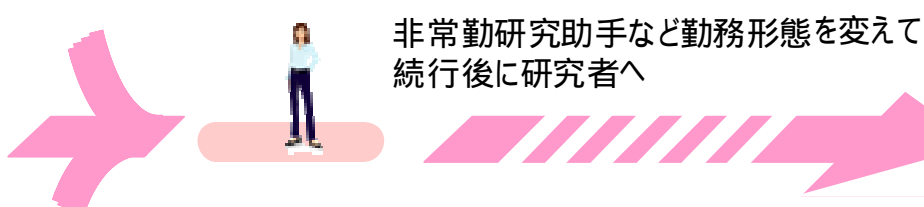
継続キャリアパスモデル



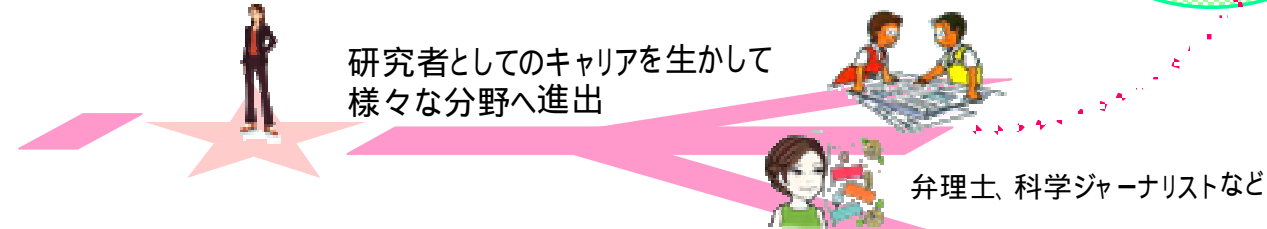
部分継続キャリアパスモデル



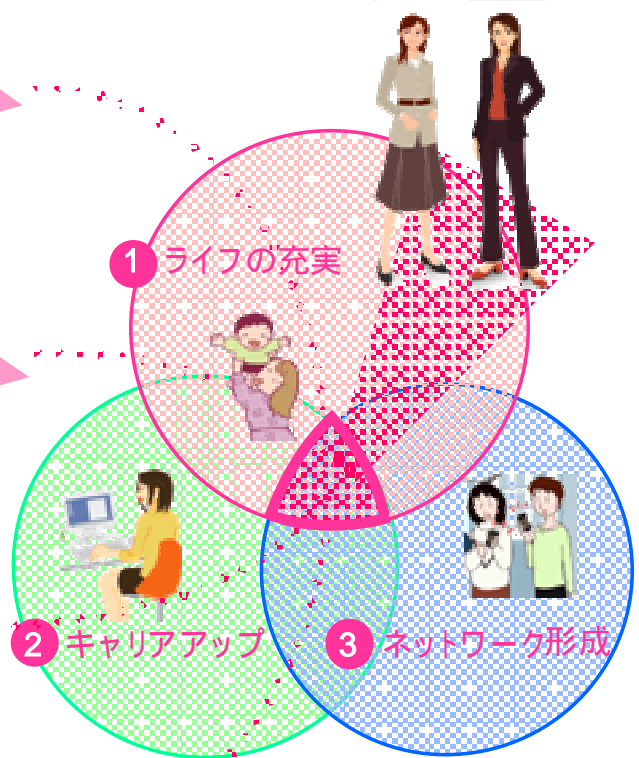
多様な職種からの柔軟なキャリアパスモデル



多様なキャリアパスモデル



女性研究者の増加



取り組みの3つの柱

ユビキタス リサーチ支援

- ・非常勤研究助手による研究支援
- ・遠隔操作実験システム、テレビ会議システムの構築
- ・夜間保育の実施

ヒューマン リソース支援

- ・eポートフォリオを活用したモデルの育成
- ・相談の場の提供
- ・産学官連携の推進
- ・NPO法人活動

調査・企画

- ・卒業生・女性研究者へのアンケート調査と各支援へのフィードバック
- ・シンポジウムの企画、実施
- ・科学教室の実施



長年の研究者育成の実績

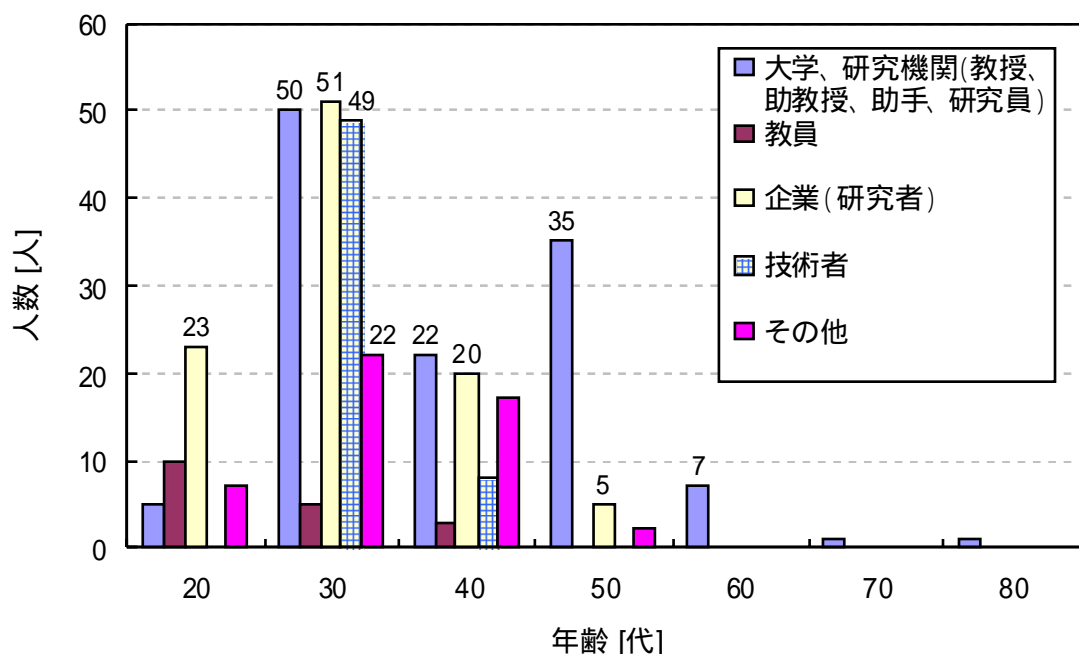
1901年：日本初の女子高等教育機関として日本女子大学創立

1992年：私立女子大学初の理学部・理学研究科設立

理学部設立以来、

1,734人を越える専門性の高い理系女性、次世代を育む母親を世に送り出しています。

研究開発分野における卒業生の活躍



理学部設立13年間のデータ(1992-2005)

学部卒業生：1,734名

修士卒業生：144名

学位取得者：26名

主な就職先：

(株)東芝, (株)日立製作所, 日本電気(株), キヤノン(株), 大日本印刷(株), フジノン(株), NTTドコモ(株), テルモ(株), オリンパス(株), 富士通(株), 理化学研究所, 科学技術振興事業団, 日本食品分析センター, 東京都水質検査, 味の素(株), 鐘紡(株), キリンビール(株), 第一製薬(株)



女性研究者の先輩からのメッセージ

出産・育児をしながら研究は継続できます

永田典子(新制第42回生(生物系))

現職：日本女子大学理学部物質生物科学科助教授



大学院博士課程1年の時に結婚、3年の時に妊娠しました。卒業後に就いた仕事は毎年契約更新が必要な期限つきポストで、育児休暇がとれませんでした。でも、案ずるより生むがやすし、無理せずポチポチやっていくことで、結果的に研究を中断することなく自然と仕事が続けられました。育児は1年では終わらない長丁場、今思えばこのやり方が自分に合っていたと思います。

理学のセンスを活かして弁理士に

長野(鈴木)晴佳(新制第49回生(物理系))

現職：日立製作所中央研究所知的財産部



弁理士として、新技術の開発を促進し、技術とビジネスの橋渡しをする重要性を痛感しています。

私は様々な製品の仕組みを知りたくて理学部を選択しました。理学的な物の捉え方ができること、また実験の経験等は私の貴重な財産となっております。自分の専門分野を確立する一方で、世の中の動きに興味を持てるバランス感覚を身に付ける上でも、自由な時間を持つことができる女子大時代は非常に恵まれた環境であったと思います。

研究も育児もどちらも大切

村上(大矢)百合(新制第46回生(物理系))

現職：東京工業大学 フロンティア創造共同研究センター 研究員



在学中、物理と数学の両方を勉強できたことはとてもよかったと思います。大学で得た知識は、研究に必要なことを殆どカバーしており、今の私のベースになっています。子どもを出産してから仕事も今まで通りこなす方も大勢いらっしゃいますが、私は完全に双児中心に変わりました。子どもと過ごす時間も私にとってかけがえのないもので、研究と育児のどちらを取るといえることは

できません。今自分ができることを一生懸命やり、ペースがゆっくりでも着実に前進していこうと思っています。

今はまず研究生活を

夏井利恵(新制第49回生(数学系))

現職：日本学術振興会特別研究員PD



現在、数学研究者として研究に邁進する日々を送っております。

学部では数物科学科の数学系を専攻しました。一年次で数学と物理学の基礎を学び、徐々に専門領域を広げ、深い知識と思考力、創造力を養うことが出来たことは、研究者を志した自分の第一歩であったと思います。その後、女性研究者が少ない数学の世界で研究を継続する強い自己

形成とより広い視野を求めて、他大学の大学院に進学しました。これからも女性研究者がどんどん増えて行くことはとても素敵なことだと思います。



文部科学省

Home > 報道・意見 > 報道発表一覧 > 分野別一覧(科学技術・学術政策) > 月別一覧(平成18年5月) > 平成18年度科学技術振興調整費の審査経緯及び結果概要について

平成18年度科学技術振興調整費の審査経緯及び結果概要について

平成18年5月23日
文部科学省

「女性研究者支援モデル育成」採択課題一覧

優れた女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として女性研究者が「研究と出産・育児等を両立するための支援を行う仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する。

提案課題名	機関名	代表者名	採択理由
保育とワークシェアによる女性医学研究者支援	東京女子医科大学	高倉 公朋	PDF
地域連携によるキャリアパス環境整備	熊本大学	崎元 達郎	PDF
女性研究者の包括的支援「京都大学モデル」	京都大学	尾池 和夫	PDF
理系女性のエンパワーメントプログラム	東京農工大学	小畑 秀文	PDF
女性研究者マルチキャリアパス支援モデル	日本女子大学	後藤 祥子	PDF
杜の都女性科学者ハードリング支援事業	東北大学	吉本 高志	PDF
研究者養成のための男女平等プラン	早稲田大学	白井 克彦	PDF
生涯にわたる女性研究者共助システムの構築	奈良女子大学	久米 健次	PDF
女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築	お茶の水女子大学	郷 通子	PDF
輝け、女性研究者！活かす・育てる・支えるプラン in 北大	北海道大学	中村 睦男	PDF

文部科学省ホームページより抜粋
(2006.5.24)

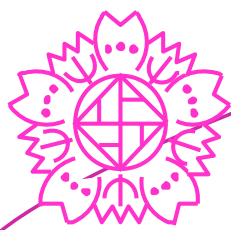
平成18年度科学技術振興調整費
「女性研究者マルチキャリアパス支援モデル」
に採択されました！

スポーツニッポン記事より抜粋



猪口大臣来たる！

平成18年3月18日、本学で
開催された学術交流公開
シンポジウム「女性と科学」にて
内閣府・特命担当大臣の
猪口邦子氏が来校し、
女性研究者・技術者に
メールを送って下さいました。



日本女子大学 理学部・理学研究科
女性研究者マルチキャリアパス支援プロジェクト
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
URL : <http://www.jwu.ac.jp>
E-mail: mcp@fc.jwu.ac.jp